

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

普代村教育委員会「放課後子供教室事業」の成果と課題(岩手県普代村)

取組事業

放課後子供教室事業

活動実施場所

普代村自然休養村管理センター

取組概要

【学び支援事業】

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の委託を受けて、子ども達の安全安心な居場所を確保し、学習支援やそば打ち体験等の体験活動を実施する。

○内容

村内の小中学生を対象に1会場で実施している。

開催は、祝日や年末年始を除き、月曜日から金曜日の15時から19時、土曜日は8時から19時に実施している。

学習や読書、体育館でのバドミントンや野球等の自由活動を見守り、支援している。また、活動場所以外において、そば打ち体験などの体験活動も実施している。



事業成果

【学び支援事業】

学習や運動、友達との交流、自由遊び等によって、子どもの健やかな成長が図られている。

また、そば打ち体験等の体験活動を実施することで、施設の利用や大人との関わりからマナーを学ぶこと、また、家庭の意識や状況等によって生じる体験格差の解消にもつながり、子どもの身体的、精神的な成長の一助を担っている。

(学び支援事業 登録者数等数値 11月末時点)

- ・登録者数 41人
- ・実施回数 178回
- ・延べ参加者数 2,658人

課題や今後の取組

(今後の取組み)

子どもの安全・安心な居場所の提供のために、スタッフとの綿密な連携を図る。

また、体験学習について、内容が重複したりマンネリ化したりしないよう、子どもたちの成長に繋がる、魅力あるものとなるよう工夫し努めていきたい。